

横浜市青葉区地区センター指定管理者選定委員会（第2回） 会議録		
日 時	令和8年7月24日（金）13時15分～17時00分 令和8年7月27日（月）13時15分～17時00分	
開 催 場 所	青葉区役所4階407会議室	
出 席 者 （五十音順）	笹井宏益委員長、越田美弥子委員、須田亜木委員、高橋充委員、西田由紀子委員	
欠 席 者		
事 務 局	松本地域振興課長、豊倉地域振興課スポーツ・施設担当係長、田中職員、今井職員、五十嵐職員	
開 催 形 態	一部非公開（傍聴者計6名）	
議 事	1 指定管理者応募書類及び面接審査（施設ごとに実施）（公開） 2 指定候補者の選定（施設ごとに実施）（非公開） 3 その他（非公開）	
決 定 事 項	横浜市青葉区地区センターの各施設の指定候補者を下記のとおり選定し、青葉区長に報告する。	
審 議 内 容	1 応募書類及び面接審査（応募団体プレゼンテーション・質疑応答）（公開） 欠格事項について、事務局から「該当団体なし」と報告。 応募者財務状況の確認結果について財務専門委員から「審査対象から除く団体はなし」と報告。 横浜市山内地区センター、横浜市藤が丘地区センター、横浜市若草台地区センター、横浜市美しが丘西地区センター、横浜市奈良地区センター（以上5施設は7月24日）、横浜市大場みすずが丘地区センター、横浜市青葉台コミュニティハウス、横浜市荏田西コミュニティハウス、横浜市新石川スポーツ会館（以上4施設は7月27日）の計9施設についてプレゼンテーション及び質疑応答による審査を実施。	
	【主な質疑内容】 (1)山内地区センター ・利用者サービス向上に向けた取組について質疑が行われ、コインロッカーの設置、キャッシュレス決済の導入及び飲食環境の充実を検討している旨	

	の説明があった。 ・開館時間の延長に関する質疑が行われ、開館時間の延長には施設管理上の制約がある旨の説明があった。 ・災害対策及び勤労世代の利用促進について質疑が行われ、図書館との連携による防災対策や仕事帰りにも参加しやすい事業の実施を検討している旨の説明があった。 (2) 藤が丘地区センター ・DX推進に関する取組について質疑が行われ、施設運営へのIT活用を継続的に検討している旨の説明があった。 ・体育館空調設備の整備状況や施設修繕への対応について質疑が行われ、適切な維持管理に取り組んでいる旨の説明があった。 ・学校や地域団体との連携について質疑が行われ、小中学校との連携事業や地域活動団体との協働を進めている旨の説明があった。 (3) 若草台地区センター ・ホームページによる情報発信や利用者への分かりやすい情報提供について質疑が行われ、改善に向けて検討している旨の説明があった。 ・官民協働の考え方について質疑が行われ、利用者の意見を施設運営や行政との連携に生かしていく旨の説明があった。 ・利用者数が多い要因や施設運営の工夫について質疑が行われ、誰もが安心して利用できる居場所づくりを重視している旨の説明があった。 (4) 美しが丘西地区センター ・シェアサイクル導入や来館者の利用状況について質疑が行われ、多くの利用がある旨の説明があった。 ・部屋の稼働率向上に向けた取組について質疑が行われ、個人利用制度の改善や設備充実を進めている旨の説明があった。 ・デジタル活用事業について質疑が行われ、スマートフォンに関する講座等の充実を図っている旨の説明があった。 (5) 奈良地区センター ・ホームページを活用した施設の情報発信について質疑が行われ、施設活動の様子を積極的に発信している旨の説明があった。 ・施設の維持管理や修繕対応について質疑が行われ、日常的な点検や早期対応を心掛けている旨の説明があった。 ・健康づくり事業や地域づくりの取組について質疑が行われ、体操やヨガ等の事業実施や地域人材の連携による事業展開を進めている旨の説明があった。 (6) 大場みずが丘地区センター ・駐車場の利用状況や交通アクセスへの対応について質疑が行われ、公共交通機関の利用促進に取り組んでいる旨の説明があった。 ・地域特性を生かした事業展開について質疑が行われ、地域人材を活用した
--	--

講座や子ども向け事業を実施している旨の説明があった。

- ・裏庭活用の計画や災害対応について質疑が行われ、法人負担による整備や気象状況に応じた施設運営を行う旨の説明があった。

(7) 青葉台コミュニティハウス

- ・サポーター制度について質疑が行われ、地域住民の協力により施設運営を支えている旨の説明があった。
- ・開館時間や施設運営について質疑が行われ、利用状況や運営経費を踏まえた運営を行っている旨の説明があった。
- ・利用促進策や利用者満足度向上の取組について質疑が行われ、情報発信の強化や利用者とのコミュニケーションを重視している旨の説明があった。

(8) 荏田西コミュニティハウス

- ・職員配置体制や事業実施時の運営体制について質疑が行われ、必要に応じて複数人体制を確保している旨の説明があった。
- ・自治会等との地域連携について質疑が行われ、各種地域団体との交流や協力関係を構築している旨の説明があった。
- ・施設事業の実施状況について質疑が行われ、他施設との連携を含めた事業展開を行っている旨の説明があった。

(9) 新石川スポーツ会館

- ・救急対応や熱中症対策などの安全管理について質疑が行われ、各種研修の受講や設備の活用により対応している旨の説明があった。
- ・利用申込方法や利用者増加に向けた取組について質疑が行われ、事業実施や施設の特色を生かした運営を行っている旨の説明があった。
- ・災害時対応や館長の勤務体制について質疑が行われ、緊急時に対応可能な運営体制を整えている旨の説明があった。

2 指定候補者の選定について（非公開）

（事務局）評点について、集計したものを委員に提出

(1) 山内地区センター

	団体名	総合評価（点）
指定候補者	公益社団法人横浜市民施設協会	599

(800 満点中)

【指定候補者に関する講評】

地域の居場所づくりや地域を担う人材の発掘・育成に向けた取組が提案されており、高く評価できる内容であった。今後は、駅近接という立地特性を生かし、地域交流の拠点として更なる施設運営の充実が期待される。

(2) 藤が丘地区センター

	団体名	総合評価（点）
指定候補者	公益社団法人横浜市民施設協会	591

(800 満点中)

【指定候補者に関する講評】

D Xの推進に関する取組が提案されており、評価できる内容であった。また、近隣小学校との連携など地域特性を生かした事業展開も行われている。今後も地域との連携を継続し、地域住民に親しまれる施設運営が期待される。

(3) 若草台地区センター

	団体名	総合評価 (点)
指定候補者	公益社団法人横浜市民施設協会	604

(800 満点中)

【指定候補者に関する講評】

他施設には見られない独自の視点やアイデアが盛り込まれた提案内容であり、地域コミュニティの形成に対する強い意欲が感じられた。提案内容には実現に向けて課題も想定されるが、地域との連携を図りながら着実に推進されることが期待される。

(4) 美しが丘西地区センター

順位	団体名	総合評価 (点)
指定候補者	公益社団法人横浜市民施設協会	593

(800 満点中)

【指定候補者に関する講評】

多様な講座を積極的に実施しており、来館者数が多い施設として運営されている。また、利用者アンケートの結果からも施設に対する高い信頼がうかがえる。今後も利用者ニーズを踏まえた施設運営の継続が期待される。

(5) 奈良地区センター

	団体名	総合評価 (点)
指定候補者	公益社団法人横浜市民施設協会	598

(800 満点中)

【指定候補者に関する講評】

地域団体等との連携による事業展開が行われており、施設の活性化につながっていることが評価できる。また、子どもから高齢者まで幅広い世代に利用されている点も評価できる。今後も利用者に寄り添った施設運営が期待される。

(6) 大場みすずが丘地区センター

	団体名	総合評価 (点)
指定候補者	アクティオ株式会社	569

(800 満点中)

【指定候補者に関する講評】

裏庭の遊休地活用に関する提案は高く評価できるものであった。一方で、施設は駅から離れた立地にあることから、利用者の利便性向上に向けた駐車場運用等の工夫が望まれる。また、施設運営に対する方針や利用者サービス向上に向

けた取組について、より具体的な説明が期待される。

(7) 青葉台コミュニティハウス

	団体名	総合評価 (点)
指定候補者	公益社団法人横浜市民施設協会	538

(750 満点中)

【指定候補者に関する講評】

教育や健康に対する地域ニーズを的確に捉えた提案内容となっており、評価できるものであった。また、施設運営の改善や利用者サービス向上に対する意欲も感じられた。今後も地域住民に親しまれる施設運営が期待される。

(8) 荏田西コミュニティハウス

	団体名	総合評価 (点)
指定候補者	公益社団法人横浜市民施設協会	521

(750 満点中)

【指定候補者に関する講評】

公園に隣接する立地条件を生かした事業展開について、更なる提案が期待される内容であった。一方で、地域との関係性は良好に構築されており、今後の発展可能性を感じる提案であった。地域との連携を深めながら、立地特性を生かした施設運営が期待される。

(9) 新石川スポーツ会館

順位	団体名	総合評価 (点)
指定候補者	公益社団法人横浜市民施設協会	500

(750 満点中)

【指定候補者に関する講評】

館長が常駐しない運営体制となっていることから、災害時や緊急時の対応体制について一歩進んだ対応の検討が望まれる。一方で、施設利用者数の増加に向けた各種取組は評価できる。今後も安全・安心な施設運営の推進が期待される。

【総評】

応募団体からはそれぞれの施設特性や地域特性を踏まえた提案がなされ、全体として評価できる内容であった。子どもや高齢者を対象とした事業提案は充実していた一方で、障害者や外国人など多様な利用者層を対象とした事業提案は比較的少なかったことから、今後より一層の充実が望まれる。

また、コミュニティハウスについては無料施設であるという特性を踏まえつつ、自主事業等を通じた施設の魅力向上や利用者拡大に向けた工夫が望まれる。公共施設には既存利用者へのサービス提供に加え、これまで施設利用の機会がなかった地域住民の社会参加を促進する役割も求められる。今後は、新規利用者の掘り起こしや地域コミュニティの活性化につながる取組を積極的に推進されたい。

	指定候補者として選定された団体においては、本委員会で示された意見や指摘事項を施設運営に反映し、より質の高いサービスの提供に努めることを期待する。また、その取組状況については、モニタリングや第三者評価等を通じて継続的に確認することが必要である。 3 その他 講評、総評に基づき、報告書を青葉区長に提出する。
資料	1 次第 2 第2回委員会について 3 評点表 4 応募書類一式